

重点施策に位置付く事業について

重点	事業名	事業の内容	工夫点	参加者数	実施日	実施場所	その他の実績	重点施策名称	項目
重点 1	日本舞踊に学ぶ'和'の作法	小・中学生を対象に、着物の着方の練習、日本舞踊等を体験するワークショップを行った。	例年、参加者の抽選倍率が高い横浜、横須賀の2会場を午前・午後の2回実施とし、より多くの方に参加してもらった。	129人	①2023年7月22日、23日 ②2023年7月29日、30日 ③2023年8月2日、3日	①横須賀市文化会館 ②秦野市立本町公民館 ③県立青少年センター	ワークショップの総合的な満足度を聞いたアンケートの結果、55人（回答者数）から「とても満足・やや満足」との回答があった。	伝統的な文化芸術の継承者の育成・支援	(ア)
	能楽ワークショップ	小学生とその保護者を対象に、謡曲・楽器の体験や能の鑑賞のワークショップを行った。	—	①26人 ②11人 ③29人	①2024年1月20日 ②2024年2月11日 ③2024年3月3日	①茅ヶ崎市民文化会館練習室1兼ミニホール ②サン・エールさがみはら多目的室 ③青少年センター練習室	—	伝統的な文化芸術の継承者の育成・支援	(ア)
	相模人形芝居学校交流ワークショップ	高等学校等において、伝統芸能への関心を喚起し、団体の活動の紹介や上演等を行うワークショップを行った。	公演に加え、歴の歴史や人形の解説、人形の操作体験などを交えて構成した。	①279人 ②251人 ③174人 ④160人	①2023年9月27日 ②10月24日 ③11月5日 ④12月7日	①座間総合高等学校 ②足柄高等学校 ③中央農業高等学校 ④平塚中等教育学校	—	伝統的な文化芸術の継承者の育成・支援	(ア)
	かながわ伝統文化こども歳時記	子どもとその保護者を対象に、伝統芸能のみならず、年中行事やお祭り、昔話や伝承遊びといった、生活に密着した地域の伝統文化が持つ魅力を、多彩なプログラムを通して紹介した。	・ホールだけではなく、ホワイエ空間や屋外も使ったプログラムを展開した。 ・複数回のWSを経て成果発表まで行うWSを実施することで、参加することも達の成長や達成感を高めた。	555人	メインプログラム 2024年1月18日 事前ワークショップ（講談・日本舞踊）2024年1月14日、2月12日、2月18日	青少年センター紅葉坂ホール、同ホワイエ、スタジオHIKARI、交流スペース	アンケートでは「大変よかった」と「よかった」を合わせると99.0%にのぼった（昨年度は93.3%）。	伝統的な文化芸術の継承者の育成・支援	(ア)
	カナガワ リ・古典プロジェクト in 海老名・山北	海老名市を舞台に山北のお峰入り、大谷歌舞伎などのホール公演やワークショップなど様々な企画を実施したほか、山北町ではサブ会場としてお峰入りの歴史・体験ブースの設置やハイキングツアーを行った。	山北町で事前PR等を行い多様な媒体による広報活動等も功を奏し、海老名の公演は過去最大の人数の集客に繋げることができた。	来場者数： （山北町） ブース参加者403人 ツアー参加者30人 （海老名市） 公演850人 ワークショップ29人	（山北町） 2023年10月8日 （海老名市） 2024年2月11日	山北のお峰入り会場（川村小学校、大野山、神明社他） 海老名市文化会館 海老名市自由通路	—	文化財や伝統的な芸能などを活用した文化芸術の発信	(ア) (イ)
	かながわの太鼓	神奈川県太鼓連合加盟6団体参加し、創作太鼓の演奏を披露した。	令和4年度同様に、事業の周知を目的として入場料を無料にして開催した。	368人	2023年11月5日	県立青少年センター	—	文化財や伝統的な芸能などを活用した文化芸術の発信	(イ)
	相模人形芝居大会	国指定重要無形民俗文化財または県指定重要無形民俗文化財に指定されている相模人形芝居の5座が一堂に介しての合同公演を開催した。	公演の合間に人形に触れる体験ができる時間を設け、伝統芸能をより身近に感じてもらえる工夫を行った。	出演団体数：5団体 観覧者：846人	2024年2月23日	青少年センター紅葉坂ホール	—	文化財や伝統的な芸能などを活用した文化芸術の発信	(イ)
	歌舞伎鑑賞教室	文化芸術の鑑賞機会の充実と活動の場づくりの一環として、県民の伝統文化への理解を促進し、継承、発展への機運を盛り上げるために、青少年・一般県民を対象に、歌舞伎を上演した。	昨年度に引き続き親子券を導入した。また、団体申込のうち、希望した学校に対し、事前レクチャーを実施した。	1,209人	2023年7月26日、27日 全4公演	青少年センター紅葉坂ホール	アンケートでは、4公演を通算して「大変良かった」「良かった」を合わせると95.8%にのぼった。	文化財や伝統的な芸能などを活用した文化芸術の発信	(イ)
	人形浄瑠璃文楽	文化芸術の鑑賞機会の充実と活動の場づくりの一環として、県民の伝統文化への理解を促進し、継承、発展への機運を盛り上げるために、青少年・一般県民を対象に、人形浄瑠璃文楽を上演した。	文楽人形による観客出迎え及び記念写真コーナー設置、文楽関係写真パネル展示を行った。	1,130人	2023年10月15日 全2公演	青少年センター紅葉坂ホール	アンケートでは、2公演を通算して「大変良かった」「良かった」を合わせると91.8%にのぼった。	文化財や伝統的な芸能などを活用した文化芸術の発信	(イ)

重点施策に位置付く事業について

重点	事業名	事業の内容	工夫点	参加者数	実施日	実施場所	その他の実績	重点施策名称	項目
重点 2	かながわ児童劇グループ交流会(かながわ人形劇フェスティバル)	地域で人形劇などの児童文化活動を行っているアマチュアグループに活動成果の発表と相互交流の場を提供する事業として実施した。	出演団体の募集について、高校や短大で活動している複数の人形劇サークルにも出演協力を依頼した。	364人	2024年2月24日、25日 全4公演	青少年センタースタジオ HIKARI	出演団体の熱心な意見交流が行なわれ、充実した交流会となった。	子ども・若者の体験機 会の確保・充実	
	青少年芸術劇場	青少年に優れた舞台芸術を鑑賞する機会を提供して舞台芸術に対する理解を深め、豊かな人間性を育むとともに、県民に鑑賞する機会を提供することを目的に、第308回青少年芸術劇場『What's SAMBASO—古典芸能の可能性』を実施した。	・施設の開館60周年及び紅葉坂ホールリニューアル記念と位置づけ、「三番叟」という演目を持つ様々な魅力を若い人に伝えるため、杉原邦生と木ノ下裕一という比較的若いアーティストによる企画・進行とした。 ・演劇部やダンス部の中高生を多数招待した。	477人	2023年7月23日	青少年センター紅葉坂 ホール	・アンケートでは、「大変良かった」「良かった」を合わせると98.7%にのぼった。 ・神奈川新聞文化部の取材記事が掲載された。	子ども・若者の体験機 会の確保・充実	
	紅葉坂舞台塾	青少年が舞台芸術に関する様々な分野を複合的に学べる舞台塾を開講した。	募集に際し、演劇コースのある学校等への広報に力を注いだ。	塾生：14人 成果発表公演観覧者 数：240人	2023年11月～3月 ※レッスン 成果発表公演：2024年3月 23日、24日	青少年センタースタジオ 「HIKARI」	成果発表公演の一般発売は完売した。	子ども・若者の体験機 会の確保・充実/子ども ・若者の創作活動の 支援による人材育成	
	歌舞伎鑑賞教室	文化芸術の鑑賞機会の充実と活動の場づくりの一環として、県民の伝統文化への理解を促進し、継承、発展への機運を盛り上げるために、青少年・一般県民を対象に、歌舞伎を上演した。	昨年度に引き続き親子券を導入した。また、団体申込のうち、希望した学校に対し、事前レクチャーを実施した。	1,209人	2023年7月26日、27日 全 4公演	青少年センター紅葉坂 ホール	アンケートでは、4公演を通算して「大変良かった」「良かった」を合わせると95.8%にのぼった。	子ども・若者の体験機 会の確保・充実	
	かながわ伝統文化こども歳時記	子どもとその保護者を対象に、伝統芸能のみならず、年中行事やお祭り、昔話や伝承遊びといった、生活に密着した地域の伝統文化が持つ魅力を、多彩なプログラムを通して紹介した。	・ホールだけではなく、ホワイエ空間や屋外も使ったプログラムを展開した。 ・複数回のWSを経て成果発表まで行うWSを実施することで、参加することも達の成長や達成感を高めた。	555人	メインプログラム 2024年 1月18日 事前ワークショップ(講 談・日本舞踊)2024年1月 14日、2月12日、2月18 日)	青少年センター紅葉坂 ホール、同ホワイエ、ス タジオHIKARI、交流ス ペース	アンケートでは「大変よかった」と「よ かった」を合わせると99.0%にのぼった (昨年度は93.3%)。	子ども・若者の体験機 会の確保・充実	
	日本舞踊に学ぶ'和'の作法	小・中学生を対象に、着物の着方の練習、日本舞踊等を体験するワークショップを行った。	例年、参加者の抽選倍率が高い横浜、横須賀の2会場を午前・午後の2回実施とし、より多くの方に参加してもらった。	129人	①2023年7月22日、23日 ②2023年7月29日、30日 ③2023年8月2日、3日	①横須賀市文化会館 ②秦野市立本町公民館 ③県立青少年センター	ワークショップの総合的な満足度を聞いたアンケートの結果、55人(回答者数)から「とても満足・やや満足」との回答があった。	子ども・若者の体験機 会の確保・充実	
重点 3	能楽ワークショップ	小学生とその保護者を対象に、謡曲・楽器の体験や能の鑑賞のワークショップを行った。	—	①26人 ②11人 ③29人	①2024年1月20日 ②2024年2月11日 ③2024年3月3日	①茅ヶ崎市民文化会館練習室1兼ミニホール ②サン・エールさがみはら多目的室 ③青少年センター練習室	—	子ども・若者の体験機 会の確保・充実	
	共生共創事業	シニア劇団やシニアダンス企画の運営、障がい者等が参加する舞台公演等を実施した。	集客公演を実施するとともに、動画配信の手法も活用し、共生社会の理念を普及した。	8,969人 再生回数：28,116回 公演等回数：37回	2023年4月～2024年3月	オンライン、横須賀市立青少年会館、横須賀芸術劇場、綾瀬市オーエンス文化会館、小田原三の丸ホール、津久井やまゆり園 等	高齢者・障がい者等へのアウトリーチ等による体験活動の充実	(ア) (イ)	
	県営団地におけるシニア合唱事業	県営団地において、住民等を対象に合唱事業を行う。	音楽に親しむためのバイオリンやピアノ等のコンサートも実施しながら、合唱のレッスンを実施	2,552人	2023年4月～2024年3月	各県営団地(10か所)	桜美林大学と覚書を締結し、学生をインターンシップとして本事業に派遣。学生は運営を支援。 県立音楽堂にて成果発表会を実施	高齢者・障がい者等へのアウトリーチ等による体験活動の充実	(ア) (イ)

重点施策に位置付く事業について

重点	事業名	事業の内容	工夫点	参加者数	実施日	実施場所	その他の実績	重点施策名称	項目
重点 4	オープンシアター2023	県民ホールにて、ホールを身近に感じてもらう取組として、オープンシアターを開催した。	バックステージツアーや無料ロビーコンサート等も実施した。	1,523人	2023年8月19日	県民ホール本館	大ホール公演では、ダンス劇公演における視覚障がい者向け音声ガイドに取り組んだ。	多文化理解の推進	
	子どもと大人の音楽堂<子ども編>「せかいほともだち！」	夏休みの子ども向け音楽体験企画。多文化共生をテーマに、舞台、ホワイエでのパフォーマンスのほか、ホワイエでのワークショップや様々な国の遊び等の文化紹介、様々な言語による絵本コーナー設置、読み聞かせなど多様な体験ができるワンデイフェスティバル。	神奈川県、横浜の多文化環境に留意し、横浜市国際交流協会の協力で英語、中国語、韓国語、ポルトガル語の言語サポーターを配置して、当日は多言語場内アナウンスを行うだけでなく、チラシや公立小学校への保護者向けレターも多言語表記にするなど、昨年度に引き続き踏み込んだサービスを行った。	507人（延べ）	2023年7月29日	音楽堂	「紅葉ヶ丘まいらん」参加館とも連携し、外国の絵本コーナーは県立図書館、横浜市中央図書館の協力によるプログラム構成を実現し、中華街獅子舞の練り歩き出発点に横浜能楽堂を選ぶなど工夫した。	多文化理解の推進	
	あーすフェスタかながわ2023	多様な国籍文化や民俗の違いを理解し、認め合うことのできる多文化共生社会の実現をめざし、「あーすフェスタかながわ2023」を開催した。	実施会場拡大や企画内容の充実を図りながら、象の鼻パーク周辺で開催した。来場者の回遊性を考え、従来の企画に加えてスタンプラリー企画等を行った。	約1.2万人	2023年12月3日	象の鼻パーク、神奈川県庁本庁舎	アンケートの結果、約88.4%の人が「とてもたのしかった」「たのしかった」と回答している。	多文化理解の推進	
重点 5	紅葉坂舞台塾	青少年が舞台芸術に関する様々な分野を複合的に学べる舞台塾を開講した。	募集に際し、演劇コースのある学校等への広報に力を注いだ。	塾生：14人 成果発表公演観覧者数：240人	2023年11月～3月 ※レッスン 成果発表公演：2024年3月23日、24日	青少年センタースタジオ「HIKARI」	成果発表公演の一般発売は完売した。	施設の機能としての人材育成	(ア)
	青少年ダンス講習会	青少年、教員等を対象に、ダンス創作の基礎的理論や創作方法を目的に講習会を実施した。	時代のニーズに合ったものにプログラムを見直し、講習内容を充実させた。	275人	2023年8月9日、10日	青少年センター紅葉坂ホール、スタジオHIKARI、練習室、研修室	—	施設の機能としての人材育成	(ア)
	中・高等学校演劇講習会	中・高等学校の生徒と教員を対象に、学校演劇における基礎的理論と実技を習得し、演劇発表に活用することを目的に、演出、演技、舞台技術、照明、音響等に係る総合的な創造方法を学習する機会を提供した。	高校演劇発表会で役立つ、荷台のニーズに合ったプログラム（ステージング）を加え、講習内容を充実させた。	中学生：629人 高校生：483人	中学校：2023年8月5日、6日 高等学校：2023年7月30日、31日	青少年センター	—	施設の機能としての人材育成	(ア)
	青少年の舞台表現のためのスキルアップクラス	時代に合ったより実践的な支援内容を幅広く提供し、青少年による演劇・ダンスの創造活動の発展向上に資することを目的として、中高生向けの先端的なワークショッププログラムを実施した。	参加者のうち希望者には講師が演出する公演にアンサンブルとして出演する機会を与えられることとした。	ダンス編30人	2024年2月13日～15日	青少年センター	—	施設の機能としての人材育成	(ア)
	2023年度インターン劇場運営(KAAT神奈川芸術劇場)	現場での実務を通して、公立文化施設のある方や、事業制作・劇場運営・舞台技術の基本的な業務について実践的に学ぶ場を提供するインターンシップを実施した。	劇場運営コースのインターンでは、KAATカナガワ・ツアー・プロジェクト第二弾『箱根山の美女と野獣』『三浦半島の人魚姫』の公演事業に関わり、制作業務および当日運営について学んだ。舞台技術コースでは、実際の公演現場で技術スタッフの指導を受けながら実務作業を学び、劇場運営の就業体験を行った。	劇場運営コース：2人 舞台技術コース：1人	舞台技術コース：2024年1月9日～2月12日 舞台技術コース：2024年2月2日～2月17日	KAAT神奈川芸術劇場	—	施設の機能としての人材育成	(ア)

重点施策に位置付く事業について

重点	事業名	事業の内容	工夫点	参加者数	実施日	実施場所	その他の実績	重点施策名称	項目
重点 5	劇場体験インターン事業	公共ホールでの文化事業の実習として、音楽事業制作と施設運営の両面を学び・体験する事業を実施した。	公立文化施設における文化事業を学ぶため、座学で学んだうえで、制作の現場を体験する内容とした。	①10人 ②2人	①2023年8月16日、18日、19日 2024年2月3日～2月27日	県民ホール本館	—	施設の機能としての人材育成	(ア)
	室内オペラ・制作広報体験インターン事業の実施	シリーズ「新しい視点」の『紅葉坂プロジェクト』『庄司紗矢香』を中心的題材に、制作と広報を軸に公共ホールでの事業実習を含むインターンシップを実施した。	「新しい視点」の一環として音楽堂公式アカウントでインターンによる広報SNS発信、公演や企画募集のチラシをどこに掲示するか等の広報計画作成を行った。また文化庁の助言もあり、人数を例年より増やした。	6人	2023年8月29日～9月26日	音楽堂	—	施設の機能としての人材育成	(ア)
	昭和音楽大学寄付講座	昭和音楽大学と連携し、劇場職員による講義を実施した。	学部の「芸術文化と社会イ」「芸術運営論イ」の講義を実施した。(2科目合同授業)	43人	2023年12月12日 2023年12月19日	昭和音楽大学	—	施設の機能としての人材育成	(ア)
	大学等と連携した人材養成プログラム(県民ホール)	東京音楽大学と連携して、学生たちと教員が声楽、ピアノ、オルガン公演を行う形での人材育成を実施した。	主にホールで実施する公演事業のリハーサルや上演の機会を活用して劇場ならではの人材育成プログラムを実施した。	10人	2023年10月11日～2024年3月10日	県民ホール本館	—	施設の機能としての人材育成	(ア)
	舞台技術講座2024	舞台技術者をはじめ、広く舞台芸術に関わる人たちに安全でより豊かな創作環境をつくるための舞台技術を学ぶ講座。	劇場スタッフや外部講師を招き、専門的に学ぶ場を提供する	①86人 ②16人 ③25人	①2023年6月23日 ②2024年3月6日 ③2024年3月7日	KAAT神奈川芸術劇場	—	施設の機能としての人材育成	(ア)
	劇場運営マネジメント講座	県内の劇場・文化施設の施設利用担当者を主な対象とし、専門性を高く設定した人材育成講座を実施した。	①これからのインクルーシブ社会と公立文化施設の取組、②利用業務の能力をブラッシュアップする「基本を学びなおす」の2つの講座を実施した。	①28人 ②44人	①2024年2月29日 ②2024年3月27日	県民ホール本館	—	施設の機能としての人材育成	(ア)
	オーディション事業(県民ホール)	県民ホールで実施する公演のオーディション等により、若手の芸術家を養成する事業を実施した。	主にホールで実施する公演事業のリハーサルや上演の機会を活用して劇場ならではの人材育成プログラムを実施した。	①25人 ②4人	①2023年4月29日 ②2023年8月30日	県民ホール本館	—	施設の機能としての人材育成	(ア)
	県民ホール本館の整備・修繕	施設の円滑な運営及び利用者の利便に供するための修繕・工事等	施設の利用に支障を来すことなく、適切な時期に工事を実施することができた。	—	通年	県民ホール本館	ビンスポット修理工事など、27件の修繕・工事を実施した。	県立文化施設の計画的な維持・保全・拡充	(イ)
	KAAT神奈川芸術劇場の整備・修繕	施設の円滑な運営及び利用者の利便に供するための修繕・工事等	施設の利用に支障を来すことなく、適切な時期に工事を実施することができた。	—	通年	KAAT神奈川芸術劇場	ホール吊物機構、舞台連絡設備改修(ITV・音声連絡設備)など、20件の修繕・工事を実施した。	県立文化施設の計画的な維持・保全・拡充	(イ)
	県立音楽堂の整備・修繕	施設の円滑な運営及び利用者の利便に供するための修繕・工事等	施設の利用に支障を来すことなく、適切な時期に工事を実施することができた。	—	通年	音楽堂	バックヤード電動シャッター修理、電気錠バッテリー交換工事、ホール3階南階段モニター更新工事、3点吊りマイクワイヤー交換を実施した。	県立文化施設の計画的な維持・保全・拡充	(イ)
県立近代文学館の整備・修繕	施設の円滑な運営及び利用者の利便に供するための修繕・工事等を実施した。	施設の利用に支障を来すことなく、適切な時期に工事を実施することができた。	—	通年	神奈川近代文学館	空調関連設備、電動書架などの修繕・工事を実施した。	県立文化施設の計画的な維持・保全・拡充	(イ)	
青少年センターホール等の整備・改修	施設の円滑な運営及び利用者の利便に供するための修繕・工事等	施設利用者への影響をなるべく少なくするように工夫しながら、改修工事を実施する。	—	通年	青少年センターホール等	ホール照明設備の更新、舞台用エレベーターの改修工事等を行った。	県立文化施設の計画的な維持・保全・拡充	(イ)	